

千葉演習林 ボランティア会

Abies 通信 (NO.9)

2006.6.20

もくじ

1. 4月度 春の一般公開サポートの報告
2. 4月度 房総道標設置作業・特別巡林活動の報告
3. 5月度 造林研修会及び全学体験ゼミナールサポートの報告
4. 7月度 夏の森林教室サポート募集案内
5. 8月度 高校生ゼミナールサポート募集案内
6. 8月度 歩道補修・苗畑除草作業 募集案内

4 月度 ボランティア活動の報告 ～ 春の一般公開サポート ～

ボランティア 岩崎 寿一
石川 輝雄

恒例の千葉演習林・春の一般公開が4月22日(土)、23日(日)の2日間にわたっておこなわれ、ボランティア会として誘導、公開区間の巡回、マナー指導などの活動を行いました。また4月18日には有線電話の架設作業に協力しました。その状況を報告します。

1. 有線電話の架設作業

参加者は原口、恵さんと石川の3名です。公開区間の黒滝ゲートから柚ノ木歩道下の間はほとんど携帯電話や無線電話が通じません。公開時のように大勢の人が入林する場合、互いの連絡には不便をきたしておりました。

そこで、対策としてこの区間に電線を這わせて連



公開区間に設置された有線電話

絡用の電話機を設置することになりました。使う電話機は過去に演習林内の作業所間の連絡に使っていた手回しの黒電話です。

当日朝9時に清澄作業所に集まり、職員の池田・永島・大塚さん等の運転する車に電線を積んで現場にでかけました。原口さんは同じ車に乗って電線を林道の脇にのばす作業で、後から恵さんと石川が電線を接続していくという手順です。電線は一束の長さが120mほどですので、全区間の架線をするには十数か所繋がなくてはなりません。接続には“絶縁閉端接続接子”という金具を使いました。

すべての接続が終了してから、電話をつないで試してみましたが、うまく通話できません。接続状態を再確認したところ、トンネルの中など二箇所接続がされてないところがあることがわかり、ここをつなぐことでうまく通話が出来ようになりました。

思いのほか作業時間がかかり、夕方5時をまわったので、連絡ベルの動作の確認まで出来ずに作業終了となりました。後日大塚さんから、連絡ベルもうまく鳴るようになったとの連絡をもらいほっとしました。

2. 春の一般公開

4月22日(土)は白石ご夫婦、米倉、田生、岩崎ご夫婦の皆さんと石川の計7名、翌日の4月23日(日)は米倉、野崎、恵、近藤ご夫婦、岩崎ご夫婦の7名が参加しました。天候は22日は晴れたのですが、23日は雨模様でした。今年昨年より開催時期が遅いこともあり、若葉が色濃く、緑のトンネルという感じでした。

入林者は2日間で516名と秋の一般公開にくらべると大分少ないですが、それだけ入林者の皆さんも私たちがゆっくりと楽しめました。設置した連絡用の手回し黒電話もうまくつながっていて、幸い事故の連絡に使われ



公開区間の入り口で解説しています

ることはありませんでしたが、通常の連絡で大活躍でした。

演習林の職員の方々の準備のご苦勞を考えると、もっとPRをして多くの方々に千葉演習林を訪れていただけるといいなと思いました。新緑の演習林は晴れた日は勿論の事ですが、雨の日もとても素晴らしく、入林者の方々はもとより、私たちボランティア会員も堪能しました。

私、岩崎は2日間とも柚ノ木歩道下で人数のカウントとご案内の担当でしたが、心に残った事柄を次にのべます。

* 崖崩れ、倒木

今年の猪ノ川流域は大分荒れておりました。春先に降った大雪で枝が折れた木や、4月上旬の豪雨により斜面が削られたり、崖崩れで土砂と一緒に川まで流された倒木などが、だいぶ目に付きました。例年お弁当広場に指定されていた川原も形が変わってしまい川原への降り口が崩れてなくなっていました。



川のトンネル「川回し」

* 朝のミーティング

初日の朝のミーティングの時に、林長先生から次のようなお話がありました。「お弁当広場以外での飲食の禁止について、入林者の皆さんに理解して頂く為の説明として“ 演習林内の環境を自然のままに維持する事も私たちの大切な目的であり、皆さんの協力をお願いしたい。”

と言う主旨で説明したらどうですか」ということでした。人が森に入る時の最も基本的なマナーであり、演習林を歩きたいという事で入林される方々ですから、解ってくれるだろうと思いました。

* 三石観音寺への表参道通行止め

4月22日の9時30分頃、柚ノ木歩道下の案内所に柚ノ木歩道から降りてきた女性がいきました。私たちの姿を見てすごく“ほっと”した様子で話し掛けてこられました。

この人の話では、今朝6時頃に亀山湖の駐車場に着き、三石観音寺への表参道から三石観音寺を通して演習林に入る予定で歩き始めたところ表参道入り口に「崖崩れの為通行止め」の看板を見てビックリ。さてどうしようと迷ったが、折角ここまで来たのだからと片倉ダムを経由して三石観音寺に抜け、やっとここまで辿り着きましたとのこと、途中全く人に遭わず寂しかったとの事でした。

疲れも見せず黒滝ゲートに向かって歩いて行く後姿が印象的でした。この女性の情報で、裏参道だけでなく表参道も通行止めになっている事がわかりました。三石歩道を歩く計画で入林される方々も多かったとおもわれますが、予定の変更を余儀なくされて戸惑うグループも多かったように見受けました。ちなみに三石歩道を通った人はこの人だけでした。

* 見かけた春の草花

柚ノ木歩道の上り口で可憐な花を見つけて、屈み込んでスケッチを始めたら他にも何種類もの花が咲いている事に気が付きました。

- | | |
|-------------------------|---------|
| ・星を散りばめたような、小さくてブルーが美しい | ヤマドリソウ |
| ・真っ白で可憐なラッパ状の花 | サツマイナモリ |
| ・キキョウに似た花で花びらも花芯も白い | タニギキョウ |

- ・小さくて白い花が無数に傘の様に咲いている
- ・白い花片は10枚に見えるが実は5枚
- ・崖に咲いている小さくて白い花
- ・一本だけ見つけた黄色い花

ツルカノコソウ
ミヤマハコベ
シコクハタザオ
キケマンまたは
ミヤマキケマン



* 地蔵峠手前の桜の花

地蔵峠お弁当広場の少し手前の峠の頂きにある一本の大きな桜の木が満開でした。この時期に桜の花が残っているとは、不思議な気持ちで今思えば今年の春先は、日本各地に季節外れの大雪が降り桜の開花も遅くなるとの予報で、実際には桜前線はあっという間に北上し、例年より早い開花となりました。しかし寒い日も多くて桜は長い間咲いていたのを思い出しました。例年とは少し違う気候でした。

* オオルリ

今春の演習林は鳥の鳴き声が多かったように思いました。黒滝ゲート付近から上流に向かって歩いて行くと、ゆったりとした美しい声でピーリー、ジジなどとさえずっているオオルリの声がよく聞こえました。尾根と尾根の間の溪谷に縄張りが有るのだそうです。4～5個所で声を聞くことができました。実物を見た事が無いのですが、雄鳥は青と黒と白の対比が美しい鳥だと教わりました。憧れの鳥です、いつか見てみたいものです。

4 月度 ボランティア活動の報告 ～ 房総道標設置作業・特別巡林活動～

事務局 石川 輝雄

4 月から 5 月始めにかけて、2 件の臨時活動をおこないましたので状況報告をします。

1. 房総道標設置作業

清和県民の森を南北につらぬく国道 4 1 0 号線の西側に平行している尾根筋の奥畑バス停からの三群山（みこおりやま：3 3 7 m）の間に道標をたてるという計画が千葉県観光課からあり、演習林に協力要請がありましたので、演習林の職員のみなさんとともにボランティア会も参加しました。

2 月 2 7 日（月）はコースの何処にどのような道標をたてるかの下調査、4 月 1 0 日（月）にはつくった道標を現地に設置するという手順です。

下調査には西山、恵さんと石川の 3 名、それに演習林の村川、福岡さんが参加しました。主催者の千葉県観光課をはじめ、県の山岳連盟やみどり推進課、鴨川市や君津市の商工観光課など 2 6 名が清和県民の森・森林館の駐車場に集まり、コースを南北に 3 班の分けて調査を始めました。私たちの担当は農産物直売所のある尾崎から尾根にとりつき、北の森林館分岐から三郡山までの一番南側のコースでした。

このコースには私設の道標が一杯あるのですが、わかりにくいものや方向が間違っているものがあつたので、ちゃんとした道標がたてば、すばらしいハイキングコースになると思いました。

4 月 1 0 日の道標設置作業には白石ご夫婦、西山、恵さんの 4 名と演習林の村川、福岡さんが参加しました。白石さんの感想を掲載します。

下準備の時と同じく、清和県民の森の森林館駐車場に総勢 4 4 名の大部隊が集まり、2 班に分かれ、設置作業に向かいました。一本目の穴掘りに時間をとられましたが、2 本目以降順調に進行し、天候も最後に少しの霧雨だけで、無事作業完了いたしました。

参加者が多かったこともあり、重筋作業には程遠く軽ハイキング程度の感触で、今も自宅で 2 人ともぴんぴんしております。

特に 3 0 3 m ピークから尾崎へ下る尾根道は眺めや木々が美しくお奨めコースと言えます。コナラの銀色の新緑は来週（4 月 1 7 日）あたりがよさそうですが、キブシの雄花や雌花が垂れ下がり、ミツバツツジの薄紫色が大変印象的でした。足元にはヤマドリソウが咲き、スハマソウは花が終わっていましたが、葉の裏が紫色なのを知り感嘆しました。

心配するほどこともなく、作業はごく普通のハイキングレベルで済みました。但し、職員村川さんは穴掘り作業で苦労されたようです。

2. 特別巡林

演習林への不法侵入車（者）や不法採取者に対する取締りを行なうとともに、レクリエーション利用者の演習林への立ち入りが増大しているため、これらの人たちに対する演習林利用規則の徹底化（許可制）や、演習林の存在意義、研究内容、自然環境の保全等を訴えるとともに、看板・ゲートの鍵等の点検、林道の状況調査などを目的とした特別巡林が4月29日（祝）、5月3日（祝）、5月7日（日）の3日間行われました。巡回区間は演習林の主要林道と周囲を演習林の車に乗っての巡回です。

参加者は4月29日が岩崎さんと石川の2名、5月3日は白石ご夫婦の2名、5月7日は岩崎、恵さんと石川の3名です。



仙石林道の終点あたりで

巡回コースは3日も基本的に同じで本沢林道、一杯水林道、猪ノ川林道、郷台林道、仙石林道、橋ノ沢林道と周囲の養老溪谷から麻綿原経由で神明神社、安房天津へ抜ける林道横瀬線、県道81号線などです。

100～150kmの走行距離を1日中走る林道ドライブという感じで私たちは後ろに乗っていただけですが、流石につかれました、運転をされた職員の方々にはさらに

大変だったと思います。特に最後の5月7日は朝から大雨で中止連絡が来るのかなと心配しながらの参加でしたが、日中はほとんど雨が降らずにすみ無事終了しました。無許可立ち入り者もなく、道も前から分かっていることですが三石観音寺へ行く表参道の道が通行止めになっていること他には特に問題はありませんでした。

5月度 ボランティア活動の報告 ～造林研修会および全学体験ゼミナールサポート～

ボランティア 相川美絵子

5月19日に演習林職員の研究・研修報告や学会報告等を聴講する造林研修会がありました。参加者は石川、野崎さんと相川の3名、翌日の20日は西山さんも加わって4名です。造林研修会の報告の最後に山本林長より千葉演習林第12期試験研究計画についての説明発表があり、演習林全体の状況を把握する上で大変参考になりました。

翌20日の午前中は大雨で森林博物資料館の清掃を行いました。午後は予定では標準地調査の予定でしたが、東京大学2年生を対象とした全学体験ゼミナール「危険生物の知識」があり、このサポートをすることになりました。

昼頃、私たちは札郷宿舎で学生20名あまりと引率の石橋先生と合流しました。先ほどまで降っていた雨は止み、晴れ間が見えて蒸し暑いくらいの天気となりました。簡単な自己紹介の後、昼食を食べ、さっそく千葉演習林で生け捕りにされた「危険生物」を実際に見せてもらいました。水槽に入れられていたマムシを外に出し、見ている側はひやひやしましたが、学生たちは群がって興味津々にのぞき込んでいました。中にはアオダイショウを手で持つ学生も。



怖いものみまさ？アオダイショウをのぞき込む学生たち

それから、一定面積の林を全部伐採した後ネットで囲い、ニホンジカの被害を受けない場合の植生の変化をたどった試験地を見に行き、シカ被害の現状を目の当たりにしました。



ネットの内と外ではこんなに植物の生えかたが違います

ニホンジカも「有害獣」なので、このゼミナールのテーマに関連します。ネットの内側にはあふれんばかりの樹木が繁茂しているのですが、ネットの外側の地面は対照的に植生がシカに食べられてツルツル。残っているのはトゲがあるなどの理由でシカが嫌いな植物（例えばジャケツイバラ）ばかりです。

雨の後の蒸し暑い陽気のおかげで、ヤマビルが多くの来客を大歓迎！していました。ヤマビルに戸惑う学生

の反応を、新鮮だなあ～、と感じながら、自慢げに学生のヤマビルを取ってあげました。中には好奇心旺盛な学生もあり、自らすすんでヤマビルを手足につけていました。このような実習のサポートの時、絆創膏・虫除けスプレー・塩・ポイズンリムーバー（ハチ毒等の吸引器）・消毒液などを持っていると大変役に立ちますので、皆様にもおすすめします。

一度札郷宿舎に戻り、今度は苗畑の見学の後、演習林になってからほぼ手つかずの堂沢針葉樹天然林の中を歩いて郷田倉経由で県道まで下りました。学生には、舗装していない山道を歩くのは慣れない経験のようで、途中遅れる人もいましたが、ヤマビルにやられた以外は無事、マイクロバスの待つ県道に到着。最後は少し雨がぱらつきましたが、大降りにならずほっとしました。

普段机に向かうことがほとんどの学生にとっては、新鮮な体験ばかりだったようです。好奇心あふれる学生とふれあうことができ、大変楽しい時間でした。

7月度 ボランティア活動の案内 ～夏の森林教室サポート～

親子で川とふれあう生き物観察会というテーマで小中学生とその保護者10組が参加する「夏の森林教室」が行われます。(詳細：千葉演習林ホームページ参照)

この行事へのサポーターを募集します。元気な子供たちと夏の自然を過ごすのも大変楽しいことと思います。多数参加ください。

なお、対象は原則としてリハーサルにも参加できる人とさせていただきます。

詳細内容は千葉演習林ホームページをご覧ください。

日 時 リハーサル：平成18年7月10日(木)、雨天の場合は7月11日(金)に順延

本 番 : **7月17日**(祝)(日帰り)

集 合 リハーサル：決まり次第、参加者に連絡します。半日の予定です。

本 番 : 清澄作業所 9:00(予定)

内 容 参加者の引率、自然解説、写真撮影など

定 員 5名程度

参加費 なし

持ち物 昼食、飲み物、雨具、タオル、ゴミ袋、筆記用具、リュック、敷物、軍手、保険証のコピー、常備薬、会員証など

服 装 長袖長ズボンの汚れても良い服装、長靴、帽子、

受付期間 6月26日(月)～7月3日(月)

申込方法 電話、FAX、E-mailのいずれかで申込下さい。

参加には千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局への入会登録が必要です。

申込、お問い合わせ先

千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局 石川 輝雄宛

8 月度 ボランティア活動の案内 ～ 高校生ゼミナールサポート～

「高校生のための森と海のゼミナール」が、東大千葉演習林と千葉大学海洋バイオシステム研究センター（鴨川市小湊）において、高校生を対象に行われます。活動のサポートをするボランティアが必要です。様々な実習や試験地見学、講義等があるので、千葉演習林を知るためにもよい機会になると思います。皆様奮ってご参加ください。

詳細内容は千葉演習林ホームページをご覧ください。

- 日 時** 平成 **18** 年 **8** 月 **8** 日（火）～ **10** 日（木）
（2泊3日、部分参加も応相談）
- 集 合** 清澄作業所に8日13:20（予定）
途中よりの参加の場合は相談ください。
- 内 容** 活動の補助、写真撮影など。
- 定 員** 3名程度（女性が1名以上いると望ましい）
- 宿泊場所** 8日 札郷学生宿舎（0439-39-3122） 9日 清澄学生宿舎（04-7094-1990）
- 費 用** 全参加：4,140円（施設使用料 札郷宿舎200円、清澄宿舎540円、食費）
部分参加は応相談
- 持 ち 物** 1日目の弁当、飲み物、筆記用具、野外活動ができる服装、地下足袋か布を巻いた長靴（ヤマビル対策として）、雨具、洗面用具、寝巻、リュック、懐中電灯、虫除けスプレー、ばんそうこう、健康保険証のコピー、常備薬、会員証など
- キャンセル** なるべく早めに、宿泊施設の都合上遅くとも2日前までに連絡下さい。
- 受付期間** 7月3日（月）～7月27日（木）
- 申込方法** 電話、FAX、E-mailのいずれか
- 参加には千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局への入会登録が必要です。

申込、お問い合わせ先

千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局 石川 輝雄宛

8月度 ボランティア活動の案内 ～ 歩道補修・苗畑除草作業・研修下見～

日 時 平成 **18** 年 **8** 月 **24** 日(木)～**26** 日(金)(1日のみの参加も可能)

集 合 清澄作業所 24日 9:40

解 散 清澄作業所 26日 16:00頃

内 容 24日 歩道修理 25日 苗畑除草 26日 研修の下見(郷台林道)
(天候や都合により変更する場合があります)

作業場所 未定(決まり次第、参加者に連絡します)

宿泊場所 清澄学生宿舎(04-7094-1990)

費 用 すべて参加の場合は4,480円
(施設使用料540円、夕食900円、朝食400円、昼食400円)

持 ち 物 1日目の昼食、飲み物、野外活動ができる服装、靴(登山靴などしっかりしたものや地下足袋)、滑り止めつき軍手、タオル、雨具、リュック、敷物、保険証のコピー、常備薬、マイカップ、宿泊用の道具、会員証、帽子、ゴム手袋など

定 員 9名程度(原則として申込先着順)

受付期間 8月3日(木)～8月15日(火)

申込方法 電話、FAX、E-mailのいずれかで申込下さい。
参加には千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局への入会登録が必要です。

ご 注 意 熱中症にならないよう、こまめに水分をとりましょう。
除草では日が照り付けますので、帽子・首巻タオルなど直射日光に当たらないような装備を忘れずに。

キャンセル なるべく早めに、宿泊の都合のため遅くとも2日前まで連絡下さい。

申込、お問い合わせ先 千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局 石川 輝雄

=====

千葉演習林ボランティア会 Abies通信 No.9 2006/6/20 発行

*事務局 〒264-0032 千葉県千葉市若葉区みつわ台 3-1-2-102 石川輝雄

*東京大学千葉演習林 〒299-5503 千葉県鴨川市天津 770 TEL:04-7094-0621
FAX:04-7094-2321 E-Mail:chiba@uf.a.u-tokyo.ac.jp
<http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/chiba/>